

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4 月	学習の進め方 [教科書 巻頭] ◎学習の進め方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1 表2-P1上段を見て、学習の進め方を理解する。 2 下段を見て、1 年間の学習内容を知る。	【態】 積極的に (①) 学習の進め方を理解し (③)、学習の見通しをもって (②) 書写学習に取り組もうとしている (④)。
	いつも気をつけよう			
	用具のじゅんぴ／用具のかたづけ [教科書P2] ◎毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	適宜	1 P2を見て、用具の準備のしかたと片づけ方を確かめる。 2 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。 【思】 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。 【態】 積極的に (①) 毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し (③)、学習の見通しをもって (②) 適切に扱おうとしている (④)。
	書くときのしせい [教科書P3] ◎書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)エ(ウ)]		1 P3の写真や唱歌「足はぺったん…」を見て、毛筆で書くときの姿勢を確かめる。 2 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 書くときの姿勢を正しくしている。 【思】 書くときの正しい姿勢を確かめている。 【態】 進んで (①) 書くときの姿勢を確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 姿勢を正しくしようとしている (④)。
	筆の持ち方／タブレットを活用しよう [教科書P4-5] ◎筆の持ち方を正しくし、タブレット端末を活用することができる。[知技(3)エ(ウ)]		1 P4の写真と解説を見て、筆の持ち方を確かめる。 2 P5を見て、タブレット端末の活用のしかたや、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。 3 以後の学習において、適宜確かめる。	【知】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】 進んで (①) 筆の持ち方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 筆の持ち方を正しくしようしたり、タブレット端末を活用しようとしている (④)。
	点画の種類 [教科書P6-7] ◎点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書くことができる。[知技(3)エ(ウ)]	毛筆 1	1 それぞれの点画の名称と筆使いを確かめ、空書きやなぞり書きをする。 2 穂先の向きと筆圧に気をつけて、それぞれの点画を毛筆で書く。	【知】 点画の種類を確かめ、点画の書き方や筆圧などに注意して書いている。 【思】 点画を書くなかで、穂先の向きと筆圧などを確かめている。 【態】 進んで (①) 点画の書き方や筆圧などを確かめ (③)、学習課題に沿って (②) 点画を書こうとしている (④)。
5 月	漢字の組み立て			
	部分の組み立て方 (左右) [教科書P8-9] ◎左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3	1 「木」と「きへん」の違いを、友達どうしやグループで話し合い、P8上段に書き込む。 2 P8下段の「たいせつ」を見て、左右の部分の組み立て方のポイントを理解する。 3 「林」の部分 (へんとつくり) の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4 左右の部分の組み立て方に気をつけて、毛筆で「林」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「林・畑・土地」を鉛筆でなぞる。	【知】 左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「林」を書写するなかで、左右の部分の組み立て方を確かめている。 【態】 積極的に (①) 左右の部分の組み立て方を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 左右の部分でできている漢字を書こうとしている (④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	部分の組み立て方（上下） [教科書P10-11] ◎上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3	1 「雨」と「あめかんむり」の違いを、友達どうしやグループで話し合い、P10上段に書き込む。 2 P10下段の「たいせつ」を見て、上下の部分の組み立て方のポイントを理解する。 3 「雲」の部分（上下）の外形をなぞり、組み立て方を確かめる。 4 上下の部分の組み立て方に気をつけて、毛筆で「雲」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「雨雲・竹笛」を鉛筆でなぞる。	【知】 上下の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「雲」を書写するなかで、上下の部分の組み立て方を確かめている。 【態】 積極的に (①) 上下の部分の組み立て方を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 上下の部分でできている漢字を書こうとしている (④)。
6月	字の形 筆順と字形 [教科書P12-13] ◎筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3～4	1 「左・右」それぞれの横画と左払いを指でなぞり、筆順と字形の関係について友達どうしやグループで話し合い、P12上段に書き込む。 2 P12下段の「たいせつ」を見て、横画と左払いが交わる際のポイントを理解する。 3 「左・右」の筆順と字形の関係を確かめる。 4 筆順と字形の关系到気をつけて、毛筆で「左右」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「左・右・有」を鉛筆でなぞる。	【知】 筆順と字形の関係を理解して、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「左右」を書写するなかで、横画と左払いが交わる時のルールを確かめている。 【態】 進んで (①) 筆順と字形の関係を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 横画と左払いが交わる漢字を書こうとしている (④)。
7月	画の方向 [教科書P14-15] ◎画（左払い）の方向を理解し、形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3～4	1 「夏・友」を見て、二つ並んだ左払いの方向の違いを友達どうしやグループで話し合い、P14上段に書き込む。 2 P14下段の「たいせつ」を見て、二つ並んだ左払いをもつ漢字を書くときのポイントを理解する。 3 左払いの方向に気をつけて、毛筆で「麦」を書く。 4 毛筆の学習を生かして、「麦・夏・友」を鉛筆でなぞる。	【知】 画（左払い）の方向を理解し、形を整えて書いている。 【思】 毛筆で「麦」を書写するなかで、二つ並んだ左払いの方向の違いを確かめている。 【態】 積極的に (①) 画の方向を理解し (③)、学習課題に沿って (②) 二つ並んだ左払いをもつ漢字を書こうとしている (④)。
9月	平がなの筆使い 平がな（折れ） [教科書P16-17] ◎毛筆を使用して、平仮名の筆使い（折れ）への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。[知技(3)エ(ア)・(ウ)]	毛筆 3	1 二つの「ん」を見比べ、どちらが整って見えるか、理由も合わせて考える。 2 1で考えたことを友達どうしやグループで話し合い、P16上段に書き込む。 3 P16下段の「たいせつ」を見て、平仮名の折れの書き方のポイントを理解する。 4 「らん」の折れの書き方を確かめ、筆使いに気をつけて毛筆で書く。 5 毛筆の学習を生かして、「らん・みね」を鉛筆でなぞる。	【知】 毛筆を使用して、平仮名の筆使い（折れ）への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。 【思】 毛筆で「らん」を書写するなかで、平仮名の筆使い（折れ）を確かめている。 【態】 進んで (①) 平仮名の筆使い（折れ）への理解を深め (③)、学習課題に沿って (②) 折れをもつ平仮名を書こうとしている (④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
10月	文字の配列			
	ノートの達人になろう 〔教科書P18-19〕 ◎漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○ノートに読みやすく書くことができる。〔B(1)イ・ウ〕	硬筆 2	1 P18のノート例を見て、読みやすく書くためにどのような工夫をしているかを考え、話し合う。 2 P19「ポイント1」について、㊦㊧のどちらが読みやすいかを、その理由とともに考える。 3 P19下段右の「たいせつ」を見て、漢字を大きめに、平仮名を小さめに書くと読みやすくなることを理解する。 4 P19「ポイント2」について、㊦㊧のどちらが読みやすいかを、その理由とともに考える。 5 P19下段左の「たいせつ」を見て、行の中心をそろえ、字間を同じくらい空けて書くと読みやすくなることを理解する。 6 漢字と仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に気をつけて、ノートに文章を書く。 7 自分の国語のノートを見て、配列に気をつけて書いているかを確かめる。	【知】漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意して書いている。 【思】硬筆で文章を書くなかで、漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）を確かめている。 【態】進んで（㊦）漢字や仮名の大きさ、配列（行の中心と字間）に注意し（㊧）、学習課題に沿って（㊦）ノートを読みやすく書こうとしている（㊧）。
	書写広げたい㊦〈理科〉 〔教科書P20〕 ◎漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○ノートに読みやすく書くことができる。〔B(1)イ・ウ〕	適宜	1 P20のノート例を見て、横書きで文や文章を読みやすく書くためのポイントを確認する。 2 自分の横書きのノートを見て、配列に気をつけて書いているかを確かめる。 3 学習したことを生かして、ノートに横書きで書く。	【知】漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）に注意して書いている。 【思】横書きのノートを書く活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）を確かめている。 【態】進んで（㊦）漢字や仮名の大きさ、配列（横書き）に注意し（㊧）、学習課題に沿って（㊦）横書きのノートを読みやすく書こうとしている（㊧）。
	みんなで考えよう SDGsブック 〔教科書P21-24〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	適宜	1 SDGsについて、P21の二次元コードを読み取って動画を閲覧するなどして理解を深める。 2 P22-23の例を見て、書写学習のなかで可能なSDGsにつながる取り組みを知り、自分たちには何ができるかを考え、話し合う。 3 これまでに学習した知識・技能の生かし方を考えて、SDGsに関する発表用のポスターを作成する。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】発表用のポスターを作成する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（㊦）習得した知識・技能を振り返り（㊧）、今までの学習を生かして（㊦）発表用のポスターを作成しようとしている（㊧）。
	ことば〔教科書P25〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	硬筆 1	1 五・七・五のリズムを感じ取りながら、P25の俳句を声に出して読む。 2 これまでに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、俳句を鉛筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】俳句をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に（㊦）習得した知識・技能を振り返り（㊧）、今までの学習を生かして（㊦）俳句をなぞろうとしている（㊧）。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
11月	漢字どうしの大きさ [教科書P26-27] ◎漢字どうしの大きさに注意して書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(イ)・(ウ)]	毛筆 3～4	1 二つの「白神山地」を比べて、漢字を並べて書くときの文字の大きさについて考え、話し合う。 2 P26下段の「たいせつ」を見て、漢字を並べて書くときは、画数の少ない漢字を小さめに書くと読みやすくなることを理解する。 3 「白馬」の外形をなぞって、文字の大きさを確かめる。 4 漢字どうしの大きさに気をつけて、毛筆で「白馬」を書く。 5 毛筆の学習を生かして、「白馬・山地・日進月歩」を鉛筆でなぞる。	【知】 漢字どうしの大きさに注意して書いている。 【思】 毛筆で「白馬」を書写するなかで、漢字どうしの大きさを確かめている。 【態】 進んで (①) 漢字どうしの大きさに注意し (③)、学習課題に沿って (②) 言葉を書こうとしている (④)。
12月	書写広げたい㊟〈国語〉 [教科書P28-29] ◎漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心と字間)に注意して書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。[B(1)イ・ウ・エ、(2)ア]	硬筆 2	1 P28-29の例を見て、「読みやすさ」という観点から漢字と仮名の大きさや配列(行の中心や字間)について確かめる。 2 リーフレットで伝えたいことを考え、調べたことを整理し、文章を考える。 3 文字の大きさや配列(行の中心や字間)を工夫して、リーフレットを完成させる。	【知】 漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)に注意して書いている。 【思】 リーフレットを書く活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)について学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで (①) 漢字や仮名の大きさ、配列(行の中心や字間)について工夫し (③)、学習課題に沿って (②) 読みやすいリーフレットを書こうとしている (④)。
	【やってみよう】町の安全を伝えよう [教科書P30-31] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつかって、調べたことをわかりやすくまとめることができる。[B(1)イ・ウ・エ、(2)ア]	適宜	1 P30-31の例を見て、見る人にわかりやすく伝えるための工夫を確かめる。 2 自分の町の危険な場所や防災施設などについて調べて整理し、防災マップの内容を考える。 3 これまでに学習した知識・技能の生かし方を考えて、大切なことをわかりやすく伝えるための工夫をし、防災マップを完成させる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 防災マップを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②) 防災マップを書こうとしている (④)。
12月	まとめ			
1月 2月 3月	書きぞめ [教科書P32-35・P49-52] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 3～5 ／ 硬筆 0～1	1 書き初めとは何かについて、確かめる。 2 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、毛筆で「出発」や「明るい心」を書く。 3 今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、鉛筆で和歌を書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②) 書き初めを書こうとしている (④)。
	四年生のまとめ㊟㊱ [教科書P36-39] ◎第4学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)]	毛筆 3	1 P36-37の『「たいせつ」のまとめ』を見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「大地」を書くときに生かせることを話し合っ、自分のめあてを書く。 2 めあてに気をつけて、毛筆で「大地」を書く。 3 P46-48「四年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、鉛筆で書く。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 毛筆で「大地」を書写するなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②) 自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている (④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
適宜	しりょう			
	手紙の書き方／はがきの表書き／げんこう用紙の使い方 [教科書P40-41] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)] ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせて文章の構成を考えることができる。[B(1)イ・ウ・エ、(2)イ]	適宜	1 手紙の構成や慣用的に用いる言葉など、手紙文の書き方を理解する。 2 便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙それぞれの書式や文字の大きさや配列など、今までに学習してきた知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて書く。(または、P40-41の例を視写する。)	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙などに書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで (①) 習得した知識・技能を振り返り (③)、今までの学習を生かして (②) 便箋、封筒、はがきの表、原稿用紙などに書こうとしている (④)。
	平がな／かたかな／ローマ字 [教科書P42-43] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)エ(ア)]		1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。 2 ローマ字の書き方を確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】 進んで (①) 点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて (③)、今までの学習を生かしながら (②) 書こうとしている (④)。
	三年生で学習した漢字 [教科書P44-45] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)]		1 第3学年で学習した漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に (①) 点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ (③)、今までの学習を生かしながら (②) 字形を整えて書こうとしている (④)。
	四年生で学習する漢字 [教科書P46-48] ◎点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書くことができる。[知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)]		1 第4学年で学習する漢字について、点画の書き方、文字の組み立て方、筆順などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の組み立て方に注意しながら、筆順に従って字形を整えて書いている。 【態】 積極的に (①) 点画の書き方や文字の組み立て方、筆順などを確かめ (③)、今までの学習を生かしながら (②) 字形を整えて書こうとしている (④)。
	身近な文字をさがそう [教科書P53] ◎町にある身近な文字に興味をもつことができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)]		1 P53の写真を参考にして、自分の町にはどのような文字があるかを考える。 2 実際に町にある文字を探して、特徴や印象に残っていることを発表し合う。	【態】 積極的に (①) 身の回りの文字を探し (③)、学習の見通しをもって (②) 見つけた文字について発表しようとしている (④)。